

# OMU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OMU students



## プロフィール (Profile)

氏名	T.A.
所属	経済学部
学年	4年
留学先	タイ
留学期間	Panyapiwat Institute of Management 2023/2/5~2023/2/12

## 留学レポート Study Abroad Report

### ①プログラム内容について

プログラムの前半では、主催大学の教授に講義をしていただき、タイの農業がコロナでどのように打撃を受けたのか、そしてそれをどう乗り越えたのかを知ることができました。取り組みの内容としては新たなサービスや情報(デリバリーサービスやサブスク、農作物のリアルタイム育成状況)を顧客に提供して商品に付加価値をつけるというものだったのですが、プログラム中盤には農場を訪問させていただきその実例を見ることができました。

具体的にはレモン農場とココナッツ農場の2つを訪問したのですが、どちらも農作物を育てる土地としてだけでなく、観光地やカフェ、加工品を売る場所としての役割を兼ねていたのが印象的でした。

ココナッツ農場のオーナーにはいくつか質問させていただける時間があったのですが、従業員からスタートし、自分の事業を始める際の土地選びや、コロナを乗り越えるために限られた土地の中で複数事業を展開されていることが聞いて興味深かったです。

プログラム後半では、今回学んだことと、日本の農業がコロナで受けた影響を学部教授と生徒に向けてプレゼンテーションしました。拙い英語でしたが、皆さんがメモを取りながら熱心に聞いてくださったり、教授からも内容に対して細かくフィードバックを頂けて嬉しかったです。

### ②滞在して驚いたこと

とにかく日本製品や日本食レストランが多いことに驚きました。今回のプログラムの主催大学は、タイでセブンイレブンなども展開している財閥の系列だったのですが、街中にはセブンイレブンの店舗が溢れていて、食品やスキンケアなどの日本製品が充実していました。

またコロナに関しても現地の人の感染対策がかなりしっかりしていて、炎天下の中でも登校している学生は皆マスクを着用していました。他の国だと、誰もマスクをしていなくて自分も着けにくかったり、浮いてしまうということというふうに聞いていたので印象的でした。

③ハプニング

常に現地の方が一緒に居てくれたのでハプニングはあまりなかったのですが、強いて言うならば屋台や一部のショッピングモールだとクレジットカードが使えない一方で、他のモールや学食では現金が使えないということがあり、合わせるのに苦労しました。あとタイの食べ物は辛いものが多いので、時々タイ料理以外を食べたり、辛さを抑えるように頼んで調節していました。

④プログラムを終えて

今回のプログラムでは、現地の大学の職員の方や学生に常に助けてもらい、本当にありがたかったです。首都から離れた場所に連れて行ってもらったり、学校見学やプレゼンテーションをさせてもらえたりと、旅行ではできない貴重な機会が得られるのは学生ならではの感覚だったので、興味のある人には参加を強くおすすめします！

また今回のプログラムに限らずですが、外国に行くとき自分の中に根付いている外国に対する偏見(この国は進んでいておしゃれそう、この国は発展途上で生活がハードそう)にいつも気付かされるので、短期でも大学生のうちに何国か訪問できて良かったと思います。

特に私は旅行よりも学校などのプログラムで訪問した回数の方が多かったのですが、今回のように現地の方や主催の方が手厚くサポートしてくださってありがたかったので、興味のある人はこのような機会を積極的に利用されるのが良いと思います。



訪問したレモン農場



授業で各国の子供の遊びをやりました



インドネシアからの参加者のプレゼンの様子



ショッピングモールに連れて行ってもらいました